

地域公共交通意見交換会（二子地区）

5月18日10時30分から、二子地区交流センターで、地域公共交通意見交換会が開催され、コミュニティバスに関する現状説明と、市と住民による意見交換が行われました。

概要

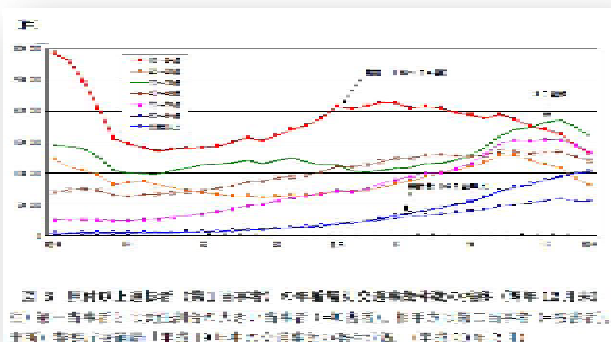
北上市企画部政策企画課より、あいさつと今回の意見交換会の趣旨説明がありました。

続いて、いわてNPO-NETサポートより、「バスを公共が担う理由として

1．地球環境・低炭素型社会の実現

1人の人間が動く際のCO₂排出量がバスは車の3割程度

2．交通事故の年代別推移

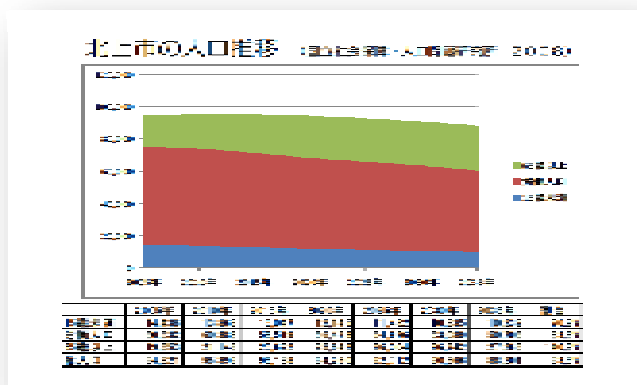


年々高齢者の事故率が上昇している

3．岩手県の人口推移

平成18年から30年間で岩手県の人口は、35万人減少（盛岡市と滝沢村を合わせたぐらいの人口）

4．北上市の人口推移



不況となり、だんだんと人口特に、（労働人口）は減ってきている。

5．国内旅客輸送量の分担率の変遷

乗用車が増えバスは減ってきている

6．バスの輸送人員の変遷

年々減少し、路線廃止も増加しているとの資料説明がありました。

その後、北上市企画部政策企画課より

「北上市では、21年度県立中部に繋がるコミュニティバスの路線が28000人乗ると見越していましたが、実際は22144人であり予定より約6000人少なく、金額にすると120万円の赤字の状況であります。

また、運行事業の収入内訳は利用者の運賃収入と市の補助金でまかなっています。昨年度の運行経費が、11,33万3千円でそのうち運賃収入は28%（金額にすると約300万円程度）

7割以上市の税金で補てんしています。

運行経費は人件費や車両整備費、ガソリン、自動車税などと県交通への管理費などが含まれています。

23年度運行の見通しとして、今までの運行を継続するのは難しいですがコミュニティバスが無くなるわけではありません。朝の第一便は、北上駅までの利用が多くそれ以降はほぼ使われていませんので、経路や運行曜日を大幅に変えることなく、効率的な運行を考えていきたいです。

今後、北上市の今後の公共交通のあり方として7月に勉強会をさせていただき10月頃からコミュニティバスの運行内容の変更についてまた皆さんと話し合いをし、23年度の変更内容をまとめていきたいです。」との現状説明がありました。

意見交換

説明が終わり、意見交換の時間には以下の意見が出されました。

- ・今の段階で使う人は限られている、現状において最善だと思う
- ・北上市民からもらう税金で赤字を出さないようにするにはどうしたらいいのか
- ・バス停でなくても、途中で手を挙げれば止まってくれるバス（フリー区間）が増えればいい
- ・少ない資金を有効に使ってほしい
- ・自宅前から乗れるようなシステムになってほしい
- ・バス利用者が減ると赤字になり廃止になるかもしれないということを分かりやすく訴えるべきだ
- ・市はどのくらい助成しているのか
- ・敬老会や総会で説明するとき文字よりも数字で表した方が分かりやすい
- ・どのくらいの収入を見込んでいたのか
- ・フリー区間を周知させ、バスを見かけたらすぐ乗れるようにすれば乗る人は増えるのでは
- ・助成金は国と市どちらからくるのか
- ・市の負担がどれだけあるのかを地域の方々に知らせ、それを住民は理解し感謝しなければならない
- ・中部病院まで花巻経由バスだと250円だが利用はほぼ無いようだ
- ・便数を減らす、不必要なところは削る、若干の値上げも仕方ない
- ・コミュニティバスを利用している人が、周りの人を誘って相乗効果を計る
- ・今の状態が悪くなれば廃止になることを伝えてほしい
- ・乗る人にも乗らない人にも市が負担していることを分かってほしい
- ・最終の時間が早いのもっと遅くしてほしい
- ・これからも運行していくためにはどうすればいいのか
- ・市には最終的にこうしていく、という決意を見せてほしい

そして最後に、いわてNPO-NETサポートより、「今までは人口が増えるという前提で物事を考えてきましたが、これからは人口が減っていくという前提で考え、

町として公共交通や施設を残していくにはどうしたらいいのか

これから二子という町を百年、二百年残していくためにはどうすればいいのか

などを考える為に7月に勉強会を開催し、またお話の場をぜひ作らせていただきたい」

とのお話があり二子地区意見交換会が終了しました。

ちなみに黒岩地区ではこのような意見がありました。

- ・スクールバスを冬の間利用できればいいと思う
- ・朝一番の便が早すぎる
- ・乗り降りする人が少ないからといっても、バスが走っているのと走っていないのではだいぶ気持ちが違う。
- ・値上げしてもいいから家の近くまで来てほしい
- ・フリー区間では遠慮して手を挙げられない
- ・運転が乱暴な人がいる

